

「当院における大腸憩室出血の治療成績および内視鏡的止血状況の検討」

へご協力をお願い

一大腸憩室出血の治療を受けた患者さんへー 【通常診療情報の調査研究への使用のお願い】

高崎総合医療センター消化器内科では、以下の臨床研究を行っております。
内容をご確認ください。

（1）研究の概要

大腸憩室出血は年々患者数が増加し、内視鏡的止血での難しさや再出血を繰り返すことから良性疾患であるものの対応に苦慮することが多い疾患です。そのため、本研究では大腸憩室出血の治療改善を図るため、当院での治療状況を調査し検討を行います。

それにより、大腸憩室出血に対して止血処置含めたよりよい治療を行える要因を検索し、今後の患者さんの治療に活かさせていただきます。

（2）研究の方法

- ① この調査研究は高崎総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。
研究期間：研究機関長許可日 ～ 2025年5月11日まで
対象調査期間：2017年1月1日 ～ 2024年6月30日まで
- ② 今回の調査研究では上記の対象調査期間中に大腸憩室出血の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データ集計し、大腸憩室出血の治療状況について調査します。
 - ・研究対象者背景
研究対象者識別コード、性別、年齢、平均入院日数、抗血栓薬内服有無、病態、治療方法・処置、転帰
 - ・臨床検査
Hb値、造影CT所見、内視鏡所見
- ③ 通常の診療で得られたデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ④ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑤ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- ⑥ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は高崎総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。

- ⑦ この調査研究は、消化器内科の研究費を使用して行います。また特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

高崎総合医療センター 消化器内科 医長

研究責任者： 増田 智之

T E L : 027-322-5901(代) F A X : 027-327-1826(代)